

# 先進的教育用ネットワークモデル地域事業の概要

## 文部省「先進的教育用ネットワークモデル地域事業」 郵政省「学校における複合アクセス網活用型インターネットに関する研究開発」

- ・平成10年度補正予算による措置
- ・郵政・文部両省の予算で、放送通信機構が実施する。
- ・全国30地域（一地域20～50校）を、平成10年度から平成13年度まで指定する。
- ・教育センター等がネットワークの中心になり、地域の学校をインターネットに接続する。
- ・放送通信機構が必要な、通信設備・設置費を負担する。期間中の通信経費等は、かからない。

### 事業のねらい。

文部省

#### 「学校教育に於けるインターネットの有効活用や 地域ネットワークのあり方に関する先導的な研究開発」

### モデル地域

拠点地区と協力地区とに分かれる。：柏は拠点地区 埼玉県川口市が協力地区

### 中央ネットワークセンター

通信放送機構に設置。各地区共通のデータベースの蓄積，ミラーリング等

### 地域ネットワークセンター

データベースの構築，学習コンテンツの蓄積，学習利用への取り組み

### 企画評価委員会

中央に儲け，研究の企画・実施・成果のとりまとめ

### 推進会議 この会議

各地区に設ける。地区の研究の企画・実施・成果のとりまとめ。

関東電管からも参加するかもしれない。

### 事業の進行計画

平成10年度	具体的研究計画の策定 ネットワーク・データベース・インターフェース等の環境整備 モデル校における必要な設備 データベース・インターフェースの開発 2月 事業計画書提出，地域推進会議の開催 データベースインターフェースの開発検討（仕様の作成） 3月 中央で企画評価委員会・入札
--------	---

平成 11 年度	<p>ネットワーク・データベース・インターフェース等の環境整備</p> <p>4月 中継回線・中央センター・ネットワークセンターの整備 教育センターの整備，学校への機器導入，データベースインターフェースの 納入，教員研修の実施 CATV は年度内からの工事もあり得る，夏休みには試験運用</p> <p><b>9月 運用開始</b></p> <p>各モデル地区毎の研究主題に基づく研究の実施 データベース・インターフェース等の評価改善等</p>
平成 12 年度	<p>各モデル地区毎の研究主題に基づく研究の実施 データベース・インターフェース等の評価改善等</p>
平成 13 年度	<p>各モデル地区毎の研究主題に基づく研究の実施 データベース・インターフェース等の評価改善等 事業全体の研究成果の評価・とりまとめ</p>

## 研究方法

**共同研究** 共同で推進会議，テーマ・成果のとりまとめも一つ

### 単独研究

ネットワークセンター活用型 拠点のサーバに，データベース・インターフェースを構築  
 既設サーバ活用型 自治体既設のサーバに，データベース・インターフェースを構築  
 高速インターネット活用型 データベース・インターフェースを設置せず，高速なインターネットのみを行う。

## 報告書

- A インターフェース・データベース の設計（H10 内）
  - B 各学校における高速回線を利用した教育方法等の研究の推進・とりまとめ。（H11～H13 年度末にとりまとめて報告。）
- この事務をするために，機構研究員を委任

## その他

- ・委託手続きは
  - ・協力企業  
工事関連等お金が関連するものは通信放送機構と契約がある。
  - ・自治体  
研究主体は，通信放送機構。郵政・文部から通信放送機構に委託。  
機構研究員（1名）を選定（自治体職員の兼務）
- ・校内の設備 ルータまでは入る
- ・タイトス - K I U K I U - 研究所間の回線  
タイトス - K I U間は，3M 相当  
K I U - 研究所間は，機構では用意されない。センターは，1つとして考えている。
- ・コンテンツの作成機材が配布される  
1校あたり，45万円以内を目安に，希望を提出。

# 柏地域の計画

川口市とは別計画で取り組む。

## 1. 研究のねらい

ネットワークを活用した学習活動に取り組み、児童・生徒の情報活用能力を育成する。

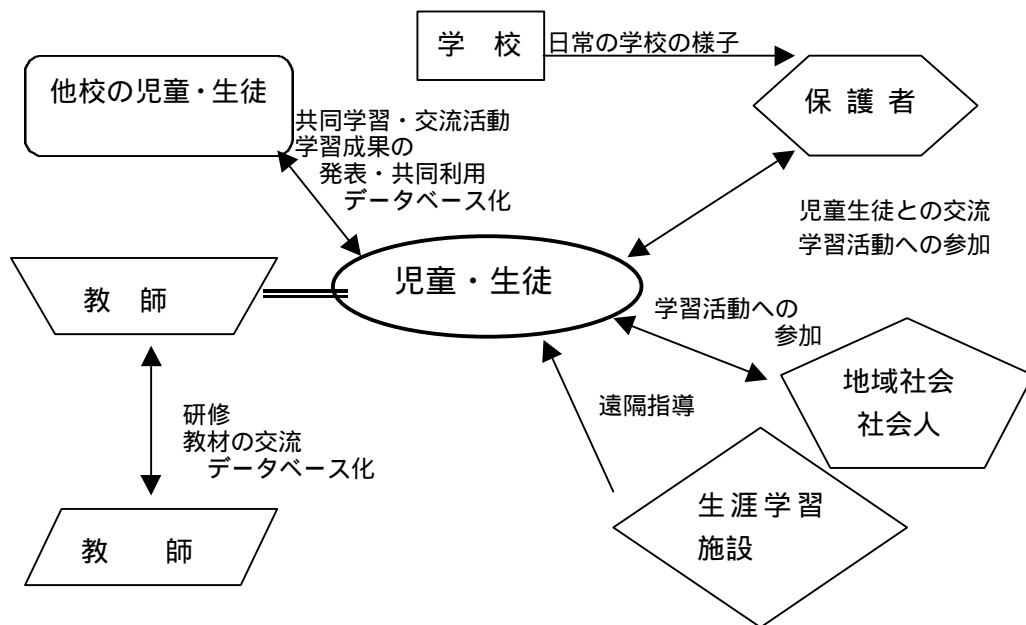
## 2. 研究計画の概要

### ・ 研究主題

地域教育ネットワークを活用した、様々な方向性の共同学習・交流活動の研究  
オープンネットワークとクローズドネットワークの運用を通して

### ・ 研究内容

総合的な学習が始まろうとする今、児童・生徒個々の学習課題を追求・解決するためには、教室という閉じられた社会だけでなく、教室を一步出て他の学校・地域社会との交流の中での学習が必要になってきている。そこで、地域ネットワークを活用し、児童・生徒同士のみならず、保護者・地域社会・教師間とさまざまな方向の共同学習・交流活動を持つことができる場を設定し、各学校の特徴を生かした取り組みを通じてモデル事例を作成する。



## 3. ネットワークを構成する機関

・ 柏市立教育研究所で研究に取り組み、ネットワークセンターは KIU におく

・ ネットワークに参加する学校 (市内 20 校)

柏第一小学校	柏第四小学校	柏第五小学校	土小学校	土南部小学校
柏第八小学校	旭小学校	中原小学校	高田小学校	名戸ヶ谷小学校
花野井小学校	富勢西小学校	柏第二中学校	光ヶ丘中学校	柏第三中学校
柏第四中学校	南部中学校	酒井根中学校	西原中学校	逆井中学校

・ 接続回線

タイタス・コミュニケーション

#### 4. 事業への取り組み体制

- ・ 情報教育推進委員会の活動を中心に進めていく。
- ・ 従来の柏市の計画と変更のない点
  - ・ KIU に全校を接続し、統括的に有害情報を除去し、不正進入を防ぐ。
  - ・ 柏市立学校等インターネット活用要領に基づく利用をする。
- ・ 各学校での取り組み
  - ・ 情報管理者の選定 (学校全体の情報に携わる者)
    - ・ 学校から外に向けて公開される情報の把握
      - ・ Web ページの内容の把握
      - ・ チャット, 掲示板等の利用状況の把握
    - ・ インターネットを使った学習活動の把握
      - ・ 教科, 単元, 時数等
      - ・ 共同学習の相手先
    - ・ 利用状況の把握
      - ・ 学校として発行, 利用しているメールアカウントの掌握
      - ・ コンピュータの利用状況の把握
      - ・ インターネットの利用状況の把握
    - ・ 校内のコンピュータのセキュリティ状況の把握
  - ・ 校内利用規程の策定
    - 平成 10 年度に先行した学校に事例を参考に
  - ・ 全体の研究計画の中から, 学校の特色を生かせる部分に取り組む
  - ・ 学校利用のために提供される機器

機 器 名	数 量	定置場所 ( 研究所 )
デジタルコンテンツ作成用パソコン	14	土, 旭, 中原, 富西
CCDカメラ	25	各学校
デジタルカメラ	9	
デジタルビデオカメラ	1	
ビデオプロジェクター	1	

- ・ 相談窓口 (ヘルプデスク) を研究所に設ける。
  - ・ 障害の切り分け
  - ・ 運用上のトラブルや疑問
- ・ 研修体制を研究所・柏インターネットユニオンで作る。

研究所の研修講座	柏インターネットユニオンの研究会
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報管理者研修</li> <li>・ 情報機器担当者講習</li> <li>・ インターネット入門</li> <li>・ インターネット学習活用</li> <li>・ 電子メール活用</li> <li>・ ホームページ作成</li> <li>・ ネットワーク活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ メールングリストの運用</li> <li>・ 研究フォーラムの実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実践事例報告</li> <li>・ 講演会</li> </ul> </li> <li>・ UNIX 講座</li> <li>・ ネットワーク構築</li> </ul>